

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団発行
週刊ニュース

2008.7.2

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)

電話 671-3032 FAX 641-7100

E-mail: info@jcp-yokohama.com

http://www.jcp-yokohama.com/

青葉区学校予定地を安価で慶応に売却

青葉区内の市立学校建設予定地約5ヘクタールを慶応義塾に売却する議案が、6月議会で可決されました。学校建設予定地を不要と判断して売却するのは初めてで、学校用途に限定して公募していました。慶応は、小中一貫校を2011年4月に開校予定です。

売却の土地は、高級住宅地として知られている同区あざみ野南など3か所で、江田駅から徒歩約10分です。土地区画整理事業の中で公立の小中学校用地として、横浜市が土地区画整理組合等から買い受けたものなどです。

売却金額は、53億5810万円。市の財産評価審議会が金額を設定し、学校用途に限ったことから外部の不動産鑑定士2人の意見をふまえて32.5%減額されました。1平方メートルあたりの価格は10万8000円です。

日本共産党市議団は現地調査を行い、周辺不動産への聞き取りから、土地価格相場は約40~48万円/㎡であることがわかりました。32.5%減額すると約27~32万円/㎡で、売却面積の5ヘクタールは約135~162億円です。



日本共産党の白井正子議員(港北区)は6月議会で、「土地整備費などを考慮しても、売却金額の約54億円はあまりにも安すぎる。財産評価審議会ではどのようにこの土地を評価してこの価格を設定したのか」と問いました。

中田市長は、「敷地面積が非常に大きいということから宅地造成を行うことを想定した評価を行っている」と答弁しました。

慶応義塾は、創立150周年記念事業の一環として大学付属の小中一貫校の新設を計画していました。地元では、昨年4月の公募開始前から慶応が当該土地にくるとの風評がありました。



プレハブ校舎の解消は？

売却の土地周辺では、児童・生徒が増加しています。昨年黒須田小学校が新設され、ある程度のマンモス校の解消は行われましたが、一部の学校ではプレハブ校舎でしのいでいます。

地元の保護者の皆さんは、これまでこの土地に公立小中学校が設置されることによって、プレハブ校舎を解消できると期待していました。

白井議員は、「今回、この土地に公立小中

学が設置されないことが確定したことにより、問題のプレハブ校舎の解消が遅れることが心配されるが、プレハブ校舎をなくしてほしいという地元の人たちの要望を実現する計画はどうなっているのか」と質問しました。

田村教育長は、「近隣校のプレハブ校舎については順次増築等を行っていくので、解消が遅れることはない。また、プレハブ校舎については、各学校ごとの児童生徒数の推移など、さまざまな個別的情况を見極めながら、その解消を進めていく」と答弁しました。